

# 2部

スクーリング  
アンケートより

# オンデマンド・スクーリングの感想

ここでは今年度のオンデマンド・スクーリングをご受講いただいた方のアンケートから講義の感想を抜粋でご紹介します。これからの受講の参考にいただければ幸いです。

(今回掲載の開講期：2021年度オンデマンド13～16)

## ●歴史を読み解く 下山 忍

- ・今起きている様々なことが、過去の歴史のつながりの中にあるのだとわかった。これまで歴史に興味をもったことはなかったが、とても興味深く学ぶことができ、もう少し詳しく勉強したいと思えた。

## ●ボランティア論 小野 芳秀

- ・ボランティアには自立した人が求められているという点を改めて認識し、成長が必要だと考えました。
- ・今回のスクーリングで考えたことは、ただボランティアをやるのではなく、意義をもってやるのが重要だということに気が付きました。ボランティアをやるときは、自分自身を知って自立した人として援助に入ります。スクーリング内容が、他の科目にも共通していることも多く再学習の機会にもなりました。知識を持ったプロとしてのボランティアになりたいと思いました。

## ●社会福祉学入門 三浦 剛

- ・3年次編入で福祉をゼロから学んでいるので、このスクーリングを受講してとてもよかったです。あやふやな知識だったところも多く、知識の再確認ができました。また、社会福祉士の役割と責任の大きさについて

も考えさせられました。とても充実した時間となりました。

- ・三浦先生の講義は、いつもとても解りやすく、楽しく視聴できました。楽しんで学ぶ事によって、より現場での実践に繋がられればと思います。興味を持ったことは、人は生まれながらにして環境との繋がりは常に切り離せないという視点。客観的にその人の状況を観察することの大切さを学ぶことができました。
- ・講義内で興味を持った内容というより考え方・思想についてですが「相談者を弱い立場としてとらえるのではなく、対等な並列的立場としてとらえる」というところに衝撃を感じました。動画内でも教授はおっしゃっておられましたが相談者を「弱い立場の人間」ととらえる人が多く、また無意識のうちに自分もそう考えていたと気づいた瞬間でした。そういう意味ではこの考え方がこの講義において自分が一番感銘を受けたことだと思いました。

### ●社会福祉原論（職業指導を含む） 田中 治和

- ・大変興味深く受講させていただきました。福祉は歴史・社会・経済・文学などあらゆるテーマを含有する面白い学問であると知りました。東北福祉大学に入って良かったと思える講義に出会うことができました。田中先生のお話は強い信念を感じさせるものでした。機会があれば先生の別の講義も受けてみたいです。
- ・福祉に限らず、様々な方面に向けても必要な考え方を学びました。問い続けられる人間になりたい、と強く思いましたが、相当な努力も必要であるということも思い知らされた気がしています。同時に、自分が真に目指したいものはなんなのか、ということを改めて考えさせられました。受講後の今、その答えは出ていません。けれど、確実に受講前とは世界が違って見えています。
- ・先生の熱意から、社会福祉の世界は生半可な気持ちでは踏み込む世界で

はないということが伝わりました。もし本当に自分だったら、いいかげんな気持ちで関わってほしくはない、その単純なことが理解できていなかったような気がします。身の引き締まる思いで授業を受けさせていただきました。紹介された本を読みたいと思ったのも初めてでした。これほど言葉に信頼を持たせられる人に自分もなりたいたいと思いました。

### ●地域福祉論 都築 光一

- ・現職のケアマネジャーなので高齢者福祉に関しては講師の解説で復習をすることができました。触れる機会の少ない子供や女性のことに関してはもう少し調べないといけないなと思いました。
- ・普段介護職員として勤務している私には、デイサービスやショートステイなどが話題に出ることも多く、地域福祉の支援体制などは興味が持てました。
- ・地域福祉計画の策定や地域活動計画など、行政や社会福祉協議会などが地域福祉の充実のために様々な取り組みをしているが、本来は地域に住む一人ひとりが無関心にならず、自分たちの地域をより良くしようと活動することが大事だと思った。人的資源・物的資源などと関わり合うことがより良い地域の創生に繋がると改めて考えさせられた。

### ●社会保障論 阿部 裕二

- ・短く要点をまとめていただき、とてもわかりやすかったです。過去現在未来の自分が生活するために必要な知識であり、入学後の早い段階で受講すればよかったです。できればかなり遡り、社会に出る前に受講したい素晴らしい内容でした。拡大する社会保障の充足や予算などについて答えはなく、誰かがやってくれるのではなく、私たちが考え、作り出していくものなのだと学びました。
- ・大枠を何となく一般常識レベルでしか知らないままに学ばずに生活して

きた社会保障について、一つ一つ、詳細に教えていただき、深く考える機会を与えていただいたことに心から感謝申し上げたいと感じました。

- ・ 社会保障は、感染症による生活様式の変容などの時にとっても大事だということを改めて実感した。「木を見て森を見ない」と言うことにならないように、色んな制度を多角度からみていきたい。

### ●福祉法学 菅原 好秀

- ・ 法律関係は難しく、文章問題を読んでも書いてあることが分からずに、とても不安でしたが、問題の解説を受けながらの授業はとても分かりやすかったです。成年後見制度について親族以外が8割というところには驚きました。自分の両親や親族についても今後関係ないことではなく、いつか来る老後についていろいろ考えさせられました。
- ・ 国家試験を見据えている者として、非常に実践に則した授業で個人的には満足しています。こういった業種であっても、法律からは逃れることができません。ですが、見方や考え方のコツを掴み、どう使っていけば良いのかを考えさせられる内容であったと思います。解説を聞いて「確かに」「そりゃそうだ」と納得できる問題が多い分、授業の最初に先生がおっしゃっていた「難しい用語が多い」という部分をいかに慣れるかが、一番の試験対策になるのだな、と感じました。福祉に関する法律の概要はなんとなく理解できたので、今後メディアで取り上げられる動向を見る際に大いに役立てようと思います。欲を言えば、「なぜこういった法律ができたのか」という背景もお聞きしたかったのですが、それは今後の他授業において自分自身で探してみようと思います。
- ・ 自分は心理学を専攻しており、更生保護制度には関係ないと思っておりました。しかし、成年後見制度を勉強していくうちに、社会福祉士の仕事の内容も興味深くなってきました。問題を解きながらの授業だったので、興味深く聞けたのだと思います。

●医学一般・人体の構造と機能及び疾病 井手 貴治

- ・医学的な内容から人体の仕組みが理解できた。ソーシャルワークの視点からも、身体的・生物的な特徴やその人が抱えている疾病などの理解は必要な知識であり、改めて基礎から学ぶことができよき勉強になった。自分自身の健康管理にも役立った。

●福祉行財政と福祉計画 佐藤 英仁

- ・この科目は難しい用語が並ぶ難易度の高い内容という印象でしたが、佐藤先生の講義のポイントがとてもわかりやすく、用語の意味がわかると関心が高まりました。さらに、自分の暮らす地域の財政はどうなっているのだろうと「自分ごと」に落とし込んで見ると、国の財政状況にも関心が広がり、ニュースを見る目が培われるように思いました。

このほかにもアンケートでいただいた感想を p. 50、62、70にも掲載しております。そちらもご参照ください。